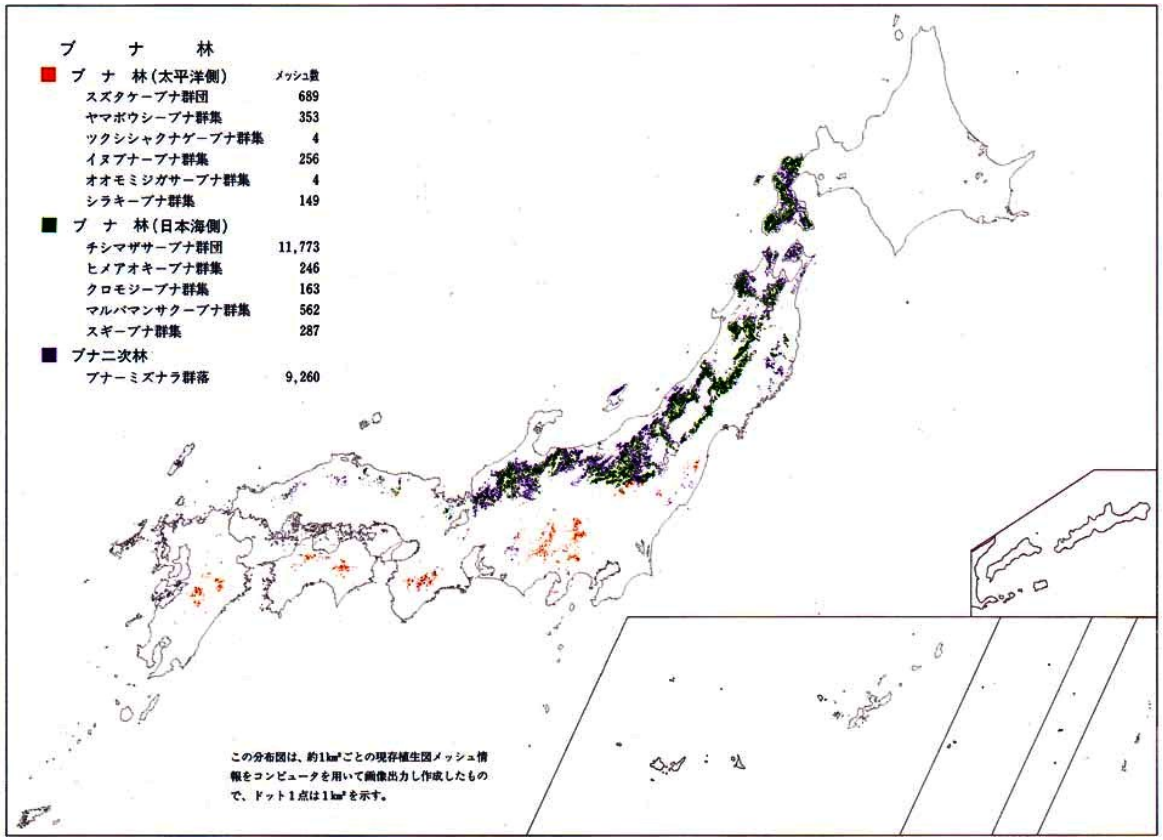
ブナ林の昆虫

東京大学　保全生態学研究室
須田真一

日本列島のブナ林



ブナ林の現存分布図
（環境省第2・3回自然環境基礎調査より）

北海道南部から鹿児島県まで分布
日本列島を代表する落葉広葉樹林でおもに山地にみられる

世界のブナ属の分布図
（黒松内町ブナセンターHPより）

ブナ林の昆虫相

- ブナはしばしば純林化するが、そのような林では昆虫相は単純化する
- 一方、ブナを食餌植物とする種など、特定の種が優占する特有の昆虫相がみられる
- このような種は日本列島固有種であるブナに依存しているため、多くが同様に固有となっており、その分布はブナの分布域とよく重なる
- このような昆虫は、成熟した天然林により多く、過去に皆伐の行われた林では少なくなる傾向がみられる

黒松内のブナ林を代表する昆虫

- フジミドリシジミ（シジミチョウ科）
  ブナ・イヌブナを食餌植物とする日本列島固有種
  その分布はブナ林の分布とほぼ一致する
  黒松内低地帯周辺が種の北限
  成熟した天然林に生息する
- ヒメオオクワガタ（クワガタムシ科）
  幼虫はブナの立ち枯れなどに生息する
  成虫は日中、ヤナギ類の枝先にいることが多い
  その分布はブナ林の分布とほぼ一致するが、北海道ではブナの北限を通り越して札幌周辺まで分布している

黒松内のブナ林で探してみたい昆虫

- オオクワガタ（クワガタムシ科）

  北海道には自然分布しないといわれていたが、近年渡島半島南部で確認されている

  北日本の本種はブナ林に生息するため、黒松内のブナ林にも生息している可能性は十分に考えられる

- ルリクワガタ（クワガタムシ科）

  東北地方以南のブナ林に生息する

  函館で採れた、などという古い記録もあるが、現在まで北海道では確実な記録は知られていない

  可能性は低いと思われますが、もしかすると、黒松内のブナ林にいるかも？？

来馬湿原のトンボ

東京大学　保全生態学研究室
須田真一

来馬湿原

エゾイトトンボ

オゼイトトンボ

アオイトトンボ

オツネントンボ

モノサシトンボ

コサナエ

ヨツボシトンボ

シオヤトンボ

2011/7/7の水辺調査で確認されたトンボ類

科名	和名	調査地（トンボ類が確認された所のみ）				
		来馬湿原	熱郛原野	婆沢	森林公園ひょうたん池	黒松内温泉脇池
イトトンボ	エゾイトトンボ	***	*		***	*
	オゼイトトンボ	*	***			**
	クロイトトンボ				**	*
アオイトトンボ	アオイトトンボ	*				**
	オツネントンボ	*				
モノサシトンボ	モノサシトンボ	*				
カワトンボ	ニホンカワトンボ		*	*		
サナエトンボ	コサナエ	**			*	
	モイワサナエ			*		
ヤンマ	オオルリボシヤンマ	*				*
	ルリボシヤンマ	*				
エゾトンボ	カラカネトンボ	*				
トンボ	ヨツボシトンボ	**	*			
	シオカラトンボ	*				
	シオヤトンボ	*			*	
	ミヤマアカネ		*	*		
8	16	12	5	3	4	5

確認個体数凡例：*** 10個体以上
** 5個体以上
* 5個体未満

黒松内町のトンボ相の多様性維持に大きく貢献！

＊オオルリボシヤンマ、ルリボシヤンマは幼虫または羽化殻で確認